科目名 (Eng)	ビジュアル情報基礎 Basic Visual Cmmunication Practice							
担当教員	内山　昭代							
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報学科	1	通年	必修	2	(30)	専門	C	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応:(E-2). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応:5).6)							
授業の概要と方針	・視覚情報の基礎導入としてイメージ、アイディア、色彩、構成、作図の過程を実習しながらデザインの基礎(デッサン、色彩、色彩描画、タイポグラフィ、平面図形、投影法、透視図法の製図法)を学習する。							
到達目標	・デザイン基礎学習をデッサン、色彩混色、色彩構成、立体造形、平面作図法(第1・第3角図法)の演習を通してデザインの基礎を理解・技術を身につけ、向上させることを目標とする。 ・基礎デッサンは、立体の見方、陰影のつけ方、質感描写を、基礎デザインでは色彩混色、構成描画を、基礎図学では平面・立体の作図法を理解し製図の技術を身につけることを目標とする。							

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
前期	1	発想と表現	点・線・面による豊富な鉛筆表現方法の学習。	光と陰の描写
	2	鉛筆表現とデッサン	紙を折る事で平面から立体になった空間表現描写法。	光と陰の描写
	3	鉛筆表現とデッサン	紙を曲げる事で平面から立体になった空間表現描法。	光と陰の描写
	4	鉛筆表現とデッサン	紙に立体の展開図を作図して作成した立体表現描写法。	光と陰の描写
	5	鉛筆表現とデッサン	紙以外の質感を持つモノの鉛筆表現描写法。	質感の描写
	6	色彩と混色	色彩の三原色を混色して全ての色を作る方法。	光と色の三原色
	7	色彩と混色	色彩の三原色を混色して全ての色を作る方法。	色の三原色
	8	色彩表現とデッサン	自然の植物の描写する基本と色彩混色の方法。	色彩混色
	9	色彩表現とデッサン	自然の植物の描写する。色彩混色の方法。	色彩混色
	10	色彩表現とデッサン	自然の植物の描写する。色彩混色の方法。	
	11	果物と質感	描写した植物をカードにするためのレイアウト法。	質感描写
	12	果物と質感	植物描写を応用したグリーティングカード、封筒の制作法。	
	13	タイポグラフィ	Wordそのものの意味に視覚表現を加えた表現を学習する。	タイポグラフィ
	14	タイポグラフィ	Wordの視覚表現にフォントの書体に形を加えて伝達する。	レタリング
	15	タイポグラフィ	Wordの視覚表現に効果的な色彩台紙を選定。	
後期	16	基礎図形の作図法	水平線・垂直線・平行線、線の等分、平行線間等分の作図法	作図法の復習
	17	基礎図形の作図法	円周の等分法、角の等分・接線の作図法、円弧の直線法	作図法の復習
	18	基礎図形の作図法	正方形・√矩形・黄金矩形の各短辺、長辺からの作図法	作図法の復習
	19	基礎図形の作図法	正多角形-1:正5角形、正6角形、正7角形、正8角形	作図法の復習
	20	基礎図形の作図法	弧成楕円・楕円の作図法、直線による放物線の作図法	作図法の復習
	21	基礎図形の作図法	弧成スパイラル、スパイラルの作図法	作図法の復習
	22		後期中間試験(100分)	
	23	投影図の作図法	空間の概念、第一角法:立体の投影法	作図法の復習
	24	投影図の作図法	第一角法:立体の投影法	作図法の復習
	25	投影図の作図法	第三角法:立体の投影法	作図法の復習
	26	投影図の作図法	第三角法:立体の投影法	作図法の復習
	27	透視図の作図法	透視空間の概念、一点透視法・焦点透視法	作図法の復習
	28	透視図の作図法	基本立体の焦点透視法	作図法の復習
	29	透視図の作図法	基本立体と応用立体の焦点透視法	作図法の復習
		投影図、透視図の作図法	まとめ	作図法の復習

試験について	前期は実施しない。後期は中間試験、期末試験を実施する。
評価方法	前期:課題作品を70%,レポート提出を30%。後期:試験結果を70%,授業での作図提出を30%
教科書	色彩、大井義雄他、美術出版社　デザイン製図ハンドブック、小山清男、グラフィック社
参考書	デザインの色彩、中田満雄他、日本色研事業　ベーシック・デザイン、馬場雄二、ダヴィット社
関連科目	
履修上の注意	前期:ステップ毎に課題学習を進めるので、課題に添って必要な材料、資料を自ら準備することに留意。色彩の原理は理解できるまで復習することに留意。後期:デザイン図学の平面作図法、投影法、透視図法の作図法必ず復習、製図は丁寧に描ることに留意